

旅もよう

～ここは熱田宿～

旅にはさまざまな目的があります。江戸日本橋を起点とした東海道五十三次を巡る旅や神社仏閣への参詣の旅などです。

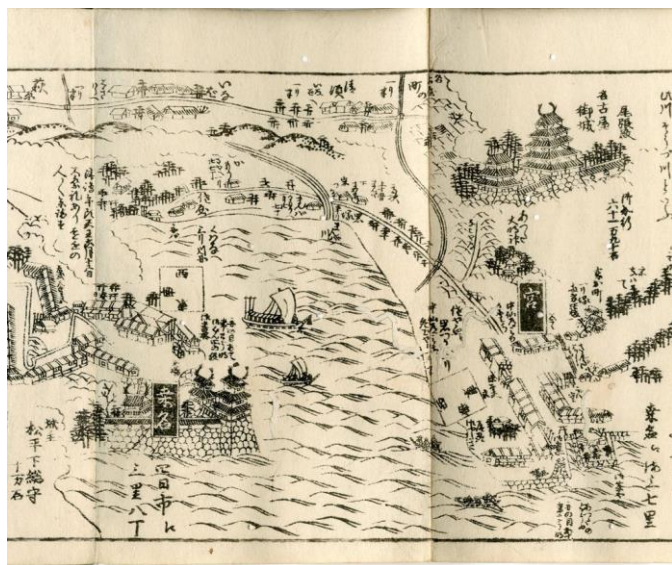
第5回展示では、「旅もよう」と題し、宿場町にある宿屋や茶屋における旅人の姿や、船・かご・馬など交通手段などが描かれた絵画を展示しています。

「熱田宿（あつたのしゅく）」は、熱田神宮をひかえていたので「宮宿（みやのしゅく）」と呼ばれており、尾張徳川家六十二万石の城下町、名古屋の玄関口でありました。また、佐屋路、美濃路への分岐点でもあり、東海道随一の規模を誇っていました。「熱田宿」の様子が描かれた絵画もご覧いただけます。

現在ほど、人々の移動が自由にできなかった時代の旅のもようをご覧いただき、当時の旅の雰囲気を感じ取っていただければと思います。



▲ 「宮 熱田まち鯛屋」



▲ 「東海分間道中記」

展示替え：平成24年4月2日（月）から

開設時間：区役所開庁時間

無料 ご自由にご鑑賞ください

場 所：熱田区歴史資料展示コーナー

（区役所1階）

問 合 せ：熱田区役所まちづくり推進室

Tel.683-9425

（福島コレクションについて）

熱田区に関する郷土資料の収集家として知られる、故福島重夫氏が30年の歳月を費やして収集された約1200点もの熱田を中心とした貴重な歴史資料（錦絵、地図等）です。昭和59年6月の熱田社会教育センター（現 熱田生涯学習センター）の開館にあたり、名古屋市（熱田社会教育センター）に寄贈されたものです。

（熱田区歴史資料展示コーナーについて）

熱田区歴史資料展示コーナーは、平成22年11月に開設し、熱田区歴史資料ボランティア（代表 周防有彦さん以下10名）の皆さんの活動により運営されています。